

報道資料 プレスリリース

広島国際大学あいサポート運動特別企画
「広島国際大学バリアフリー映画祭」を開催
11月24日、広島県立美術館で

**障がいのある人もない人も、小さな子供連れの人も
みんなで楽しむ映画祭を企画しました。**

障がい者支援を進める広島県「あいサポート団体」に認定されている広島国際大学（秋山實利学長）では、来る11月24日、広島県立美術館で「バリアフリー映画祭」（入場無料）を開催します。

この映画祭は、代表的な映画作品を日本語字幕と音声ガイド付きで上映し、視覚や聴覚に障がいのある方、ない方が、おなじ時と場所を共有しながら共に映画を楽しんでいただくというものです。学習障がいの方や、見えにくい聞こえにくい高齢者の方々にも楽しんでいただけます。

上映する作品は、黒崎博監督の「火の魚」、豪田トモ監督の「うまれる」、砂田麻美監督の「エンディングノート」のバリアフリー版です。映画「うまれる」の上映では、ママパパタイムと名づけて小さな子供たちがママ、パパのお膝の上でいっしょに臨場感溢れる映画をご覧くださいませ。

心のバリアフリーを進めます。いろんな人といっしょに映画を楽しむ

障がいは人によってさまざまであり、できることとできないことも、ひとりひとり違います。それを特別なことと思わずに、いろいろな人がいる、という理解のもとに、おなじ場所でおなじ映画を楽しむことは、心のバリアフリーを進めることにつながります。この映画祭では音声ガイドにイヤホンなどを使わずに、すべての参加者に届くよう、会場のスピーカーから流れます。音声ガイドを聞きながら観賞する映画に新たな発見があるかもしれません。

障がい者、サポーター、本学の学生と教員によるパネルディスカッション

「うまれる」上映後のパネルディスカッションでは、視覚障がい者と、障がい者サポーターの方をパネラーに迎え、広島国際大学の学生、教員とともに、新しい福祉のあり方や様々なバリアフリーについて話し合います。広島国際大学には現在、数十名の障がいがある学生が学んでいますが、彼らの日常生活をサポートしながら福祉の勉強に励んでいる学生とともに、考える機会とします。

司会進行・サポートは学生ボランティア

映画祭の司会進行や身障者サポートなどは、広島国際大学の学生ボランティアが行います。学生たちがボランティアとして参加することで、実際に障がいのある人とふれあい、イベントを共有する体験をします。この体験機会は将来の専門職業人としての人間性を育む場にもなります。

（次頁に続く）

○日 時：2012年11月24日（土）10:00～17:00

○場 所：広島県立美術館 講堂（地下1階）

○上映作品：①「火の魚」 上映時間：10:30～11:30

テーマは「命の輝き」広島の小さな島から届けられる物語。

②「うまれる」 上映時間：12:30～14:15※

命と家族、絆の物語。

※ママパパタイム（未就学児の同伴可）での上映。

上映後、新しい福祉のあり方や、様々なバリアフリーについて、視覚・聴覚に障がいのある方をゲストにお迎えし、広島国際大学教員と障がいのある学生をサポートしている学生とでパネルディスカッションを行います（14:45 終了）。

③「エンディングノート」 上映時間：15:30～17:00

これはあるひとつの家族の物語。そして、誰にでも訪れる最後の物語。

○申込方法：住所・氏名・連絡先・メールアドレス・鑑賞人数・作品等を明記の上往復はがき、電話、FAX、E-mail のいずれかで申込み
※入場無料。各作品申込み先着200名

○問合せ先：広島国際大学学長室庶務課 バリアフリー映画祭係
〒739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台555-36
TEL：0823-69-6034 FAX：0823-70-4513
E-mail：shagaku@ofc.hirokoku-u.ac.jp
詳しくは下記ホームページをご覧ください。

http://www.hirokoku-u.ac.jp/cooperation/barrier_free.html

※報道各社の皆様には、事前告知の機会がありましたら取り上げていただき、また当日もぜひ取材におこしいただきたくよろしくお願いたします。

■内容に関するお問い合わせ先

広島国際大学 庶務課（社会学連携担当：沖川）

TEL：0823-69-6034

■取材の申し込み先・本件発信部署

広島国際大学 企画課（坂井）

TEL：0823-70-4922

添付文書 案内チラシ 発信枚数：本書含め4枚